

学習指導要領

社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度やよりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。

教師の願い

- ・自ら問い合わせを見つけ、その問い合わせを追究していってほしい。必要があれば友達と協働し、話し合う中で考えを深めたり、広げたりしていってほしい。
- ・将来を担う国民としての自覚をつけていってほしい。

児童の実態

教師の手立て不足により、社会的事象について多角的に考えることがまだ難しい。そのため、協働の中で多角的な考えが見られず、考えを深めたり広げたりすることができない。

校内研究主題

主体的・協働的な学びを通して、思いや考えを深める児童の育成

＜社会科における主体的＞

問い合わせを見つけ追究し、学習したことを社会生活に生かそうとする。

＜社会科における協働的＞

追究の立場に基づき、調べたことを共有したり、お互いの課題について話し合ったりする。

国語科における目指す児童像（高学年）

伝え合いを通して、
考え方を見つめ直す児童

社会科における目指す児童像（5学年）

自ら問い合わせを見つけ、社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考え、問い合わせを追究し解決する児童

仮説

教師が資料を精選し、協働ができるように学習計画を立てるための工夫をすれば、児童は自ら問い合わせをもち、社会的事象について多角的な考えをもち、追究の立場に基づき調べたことを共有したり、お互いの課題について話し合ったりするようになるだろう。

手立て

(2)学習計画の工夫

- ・問い合わせを見出すための気付きの時間をとる。
- ・学習問題（テーマ）を設定してから、調べたいことを自己決定することで、学習計画を立てやすくなる。
- ・協働活動の時間を効果的に設定する。

(3)協働的な学習活動の工夫

- ・個人課題を共有するときや、実際に調べるときに友達の個人課題を見やすくすることで、自然な協働が生まれる。

(1)資料の精選と資料提示の工夫

- ・教師が児童に提示する資料を精選することで、問い合わせをもちやすくし、社会的事象を多角的に捉え、課題解決の見通しをもつことができる。
- ・個人課題が拡散せず、協働活動にもつなげることができる。
- ・読み取らせたいことによって、資料提示のしかたを工夫することで、焦点がずれない。

第5学年社会科学習展開案

令和2年12月9日（水）第5校時
杉並区立高井戸第二小学校 5年1組30名
授業者 主任教諭 石丸 和孝

1 単元名 「わたしたちの生活と工業生産」（全23時間）

小単元名 「これからの工業生産とわたしたち」（全7時間 本時は2/7）

2 小単元の目標

我が国の工業生産について、伝統を生かした工業、中小工場の優れた技術などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで工業生産の課題をとらえ、工業生産の発展と国民生活との関連を考え、表現することを通して、原材料や資源の多くを輸入している我が国の工業生産の現状をふまえ、消費者の需要や社会の変化に対応した新しい技術の開発などが重要であることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことをもとにこれからの工業の発展について考えようとする態度を養う。

3 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①伝統を生かした工業、中小工場の優れた技術などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて必要な情報を集め、読み取り、工業生産の課題を理解している。</p> <p>②調べたことを図表や文などにまとめ、原材料や資源の多くを輸入している我が国の工業生産の現状をふまえ、消費者の需要や社会の変化に対応した新しい技術の開発などが重要であることを理解している。</p>	<p>①伝統を生かした工業、中小工場の優れた技術などに着目して、問を見出し、工業生産の課題について考え表現している。</p> <p>②工業生産について学習してきたことを総合して工業生産の課題について考え、学習したこととともに、消費者や生産者の立場などから多角的に考えて、これからの工業の発展について考え表現している。</p>	<p>①これからの工業生産について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>②学習したことをもとに、これからの工業の発展について考えようとしている。</p>

4 小単元について

（1）学習指導要領との関連

本小単元は、学習指導要領の内容（3）ア（ア）（エ）、イ（ア）に基づき、主に日本の工業生産と国民生活に果たす役割について学習する。伝統を生かした工業、中小工場の技術、工業生産の諸課題などをもとに、それらに迫れるようにする。

（2）教材観

本教材では、これからの日本の工業生産を発展させるためには、様々な課題の解決が必要であり、わたしたち国民の努力が大切であることを考えることができるようとする。

北陸地方の伝統を生かした工業や東京都大田区の中小工場の技術を学習するとともに、環境問題やエネルギー問題、製造業の労働人口の減少、少子高齢化等の工業生産がかかえる諸課題について考えていく構成で

ある。

まず、小単元の導入では、中小工場や伝統を生かした工業の技術力の高さや工夫に気付ける資料を提示する。(教科書(東京書籍)から資料を活用)その資料を見ることで「優れた技術をもっているから日本の工業は安心だ!」という考えをもつ児童がいるだろう。その考え方から「本当にそうなのか?」という問い合わせに「大田区工業ガイド」の工場で働く人数のグラフを提示し、日本の工業生産の課題について既習事項をふまえて考えさせ、学習問題(テーマ)を決める。「学習問題(テーマ)の例:中小工場は、どのような技術があり、どのような工夫をしているのだろう。また、工業生産にはどのような課題があるのだろう。」という学習問題(テーマ)をもとに何を調べたいか児童自身が考え決める。そして予想を立てる。その後、教科書・資料集を用いて、それぞれ調べたことを共有する。共有場面では「福井県鯖江市の眼鏡の生産」「伝統を生かした北陸の工業」「東京都大田区の中小工場」について確認することで、中小工場の技術力の高さと仲間回しなどの工夫について理解を深めることができる。さらに、中小工場や伝統を生かした工業の優れた技術や工夫を調べていく中で、課題をどのように克服していくかについても考えさせたい。

(3) 学習者について

クラス全体として、課題を立て前向きに解決していこうとする姿勢をもっている。また、発言も多く交流も活発に行っている場面が多く見られる。しかし、自由な交流を行うと、一定の児童同士の交流で終わってしまうことも多い。そのため、教師の意図的グルーピングでの交流も大事になってくる。

社会科では、資料から疑問に思ったことをもとに個人課題を立て、共通で解決していきたいことを共通課題として捉えさせ、これまでの学習を進めてきた。個人課題を立てることには抵抗がなく、むしろ自分でどんどん調べていきたいと感じている児童が多い。しかし、個人課題の内容も千差万別である。例えば、水産業における個人課題もそれだけで「どのような魚なら養殖ができるのか」「場所によってとれる魚が違うのはなぜか」「魚の消費量が世界有数なわけ」「水産業の課題」など調べたことはそれであり、その結果、児童同士が調べたことを交流する際には多くの時間が必要になった。また、調べたことをまとめる手段と方法も自己決定をさせると、ロイロノートにまとめた児童が18人、ノートにまとめた児童が12人となり、表現方法も分かれていた。ロイロノートに表現したい児童は、ウェブ検索がすぐにできること、何度もやり直せること、パソコンに慣れてきたことなどが理由として考えられる。

本小単元では、学習問題(テーマ)を決めた上で、「そのためにどのようなことを調べればよいか?」と自己決定をさせるため、今まで以上に調べていることに散らばりが少なくなり、児童同士の交流も自然に活発になるのではないかと期待する。

過去の授業にて

＜小単元:自動車をつくる工業での個人課題と学習問題(テーマ)＞

④ 「自動車の生産はどこでどのようにどのような工夫をして行われているのか」
「どのようにしてたくさんの自動車を生産しているのか」
「自動車をつくるときの工夫」「だれが自動車をつくっているのか」
「自動車をつくるときの工程」「どのようにして車を運んでいるのか」
「自動車会社の工場と自動車の関連会社との関わり」

自動車生産に関わる人々の工夫や努力
優れた技術
工場相互の協力関係

ここまで発展した歴史
自動車の工業が盛んな理由
その他

「どうして日本の自動車の工業は他の国よりも発展しているのか」
「どのような歴史で自動車の工業がここまで発展したのか」
「他の工業地帯・工業地域の中で自動車の生産がさかんな所、さかんな理由」
「自動車の歴史」「自動車の進化、どのように進化したか→なぜそのように変わったか」
「豊田に自動車工場を多いわけ」「世界でどれだけの人が車を持っているのか」「日本車はどれぐらいあるか」

学習問題(テーマ):豊田市でさかんな自動車生産は、どのような工夫・努力で行われているのか

5 研究主題に迫る手立て

＜校内研究主題＞
主体的・協働的な学びを通して、思いや考えを深める児童の育成

＜社会科における第5学年分科会テーマ＞
問い合わせを見つけ多角的な考え方をもつたための資料の精選と協働的な学習活動の工夫



(1) 資料の精選と資料提示の工夫

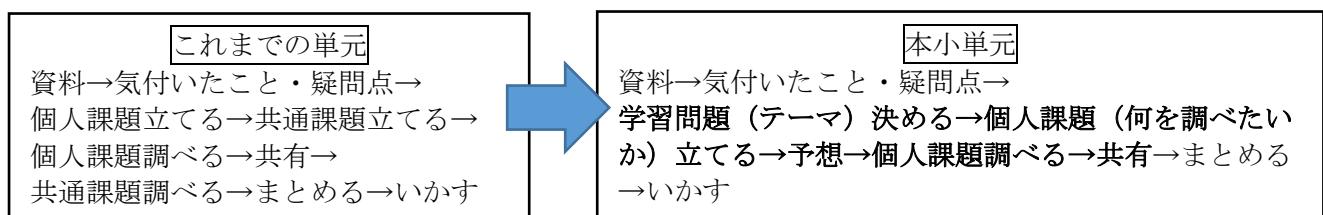
学習問題（テーマ）を決めるときや個人課題を立てるときに最も重要なのが最初の資料提示である。学習問題（テーマ）を中小工場と伝統を生かした工業、工業生産の課題に焦点が当たるように、資料を吟味し、児童に分かりやすく教師が編集をする。

提示のしかたにも工夫が必要である。例えば、資料をプリントに印刷して配布するのか、電子黒板で提示するのか、一人一人のパソコンで見られるようにするのかなど、資料の種類や目的によっても使い分ける必要がある。本小単元では、技術の高さに気付かせるためにパソコンで画像を送り、拡大するなどして細かい部分まで見られるようにする。

(2) 学習計画の工夫

本小単元では、学習問題（テーマ）を全員で確認した上で、そのために何を調べるかを自己決定させる。学習問題（テーマ）に対して、どのようなことを調べたいか（個人課題）を決め、調べたいこと（個人課題）に対して予想を立てる。それによって、調べたいことが拡散しにくくなり、協働場面ではより考えが深まったり、広げたりできるようになると考えられる。

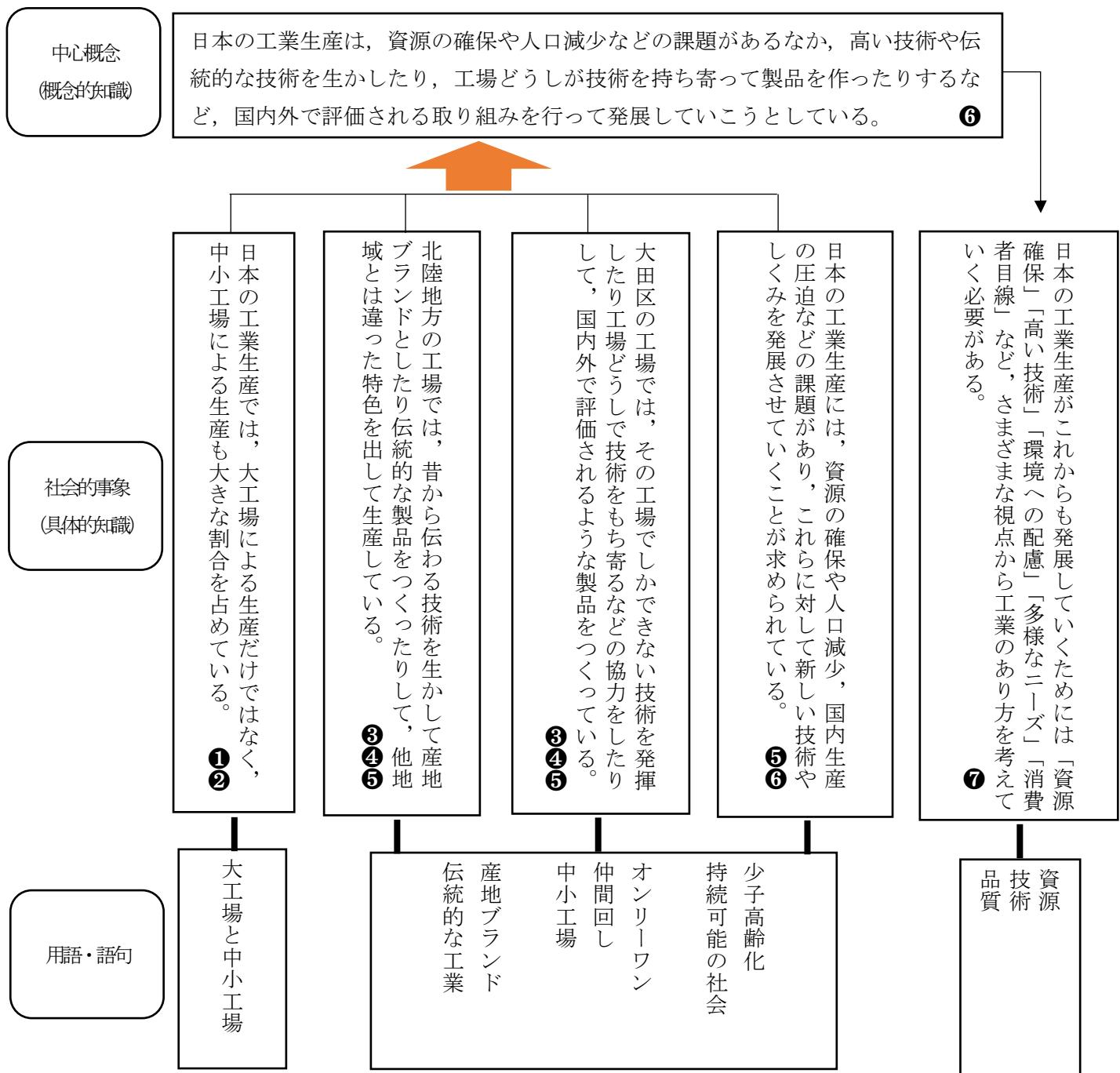
小単元導入部分では、最初の資料提示だけで小単元の全ての内容を含んだ学習問題（テーマ）にすることは難しい。全て最初に網羅しようとすると児童にとっては情報量が多いため混乱する場合もある。そのため、1時間目は、資料を見て気付いたことや疑問点、感想などを交流する時間を設定している。2時間目では1時間目の学習を生かして、感想を丁寧に確認し、学習問題（テーマ）を決め、個人課題につなげていく。



(3) 協働的な学習活動の工夫

どのようなことを調べたいか（個人課題）を決め、実際に調べていくときに様々な人と協働できるようになることが大切である。一人で調べまとめたい児童、同じ個人課題どうしで情報を共有したい人、違う個人課題どうしで新たな発見をしたい人など様々であるため、様々な協働ができるようにならなければならない。具体的には、ロイロノートでの個人課題共有を行うこと、パネル板に短冊を貼り見えるようにしておくことである。これを行うことで、教師も「○○さんと協働してみよう」という声掛けがしやすくなり、多くの人の情報を共有したり話し合ったりできるようになると考える。

6 知識の構造図



7 小単元の指導計画(全7時間扱い)

過程	めあて	○主な学習活動・内容 [-----]まとめ	◆指導上の留意点	評価規準と方法
学習問題 (テーマ) をつかむ	① 日本の工業生産の特色 P. 46~47 資料を見て、自分の考えをもとう	<ul style="list-style-type: none"> ○中小工場や伝統を生かした工業の技術の高さと工夫が分かる資料・映像を見て、感想を交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・小さな工場には、大工場にないよさがある。 ・小さな工場には、高い技術をもった人たちが働いている。 ・一つ一つ手作業で壺を作っている。職人の技があるのだろう。 ○「大田区工業ガイド」の中小工場の資料を見て、優れた技術をもっているが、今後の工業にもまだ課題があることを読み取り、考えられることを交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・年々、製造業の事業所数が減っているので、働く人も減っているのではないか。 ・従業員数が一つの工場で少ないので、今後事業が続していくのか分からぬ。 ○学習感想を書き、次時への見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・優れた技術があることが分かった。しかし、従業員数が少ないという課題もありそう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自動車工業までの大工場も想起させ、中小工場との違いを明らかにする。 	[思判表①] ノートの記述内容や発言内容から「伝統を生かした工業、中小工場の優れた技術などに着目して、問い合わせを見出しているか」を評価する。
	<u>(本時)</u> ② 日本の工業生産の特色 P. 46~47 これからの学習問題 (テーマ) を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の学習感想を共有する。 <ul style="list-style-type: none"> ・日本の中小工場には高い技術・工夫があることが分かった。 ・伝統を生かした工業には、職人の方がいて、他には真似できない作業をしていることが分かった。 ・従業員数が少ないという問題もあった。今後の工業生産について考えていきたい。 ○学習問題(テーマ)を決める。 <ul style="list-style-type: none"> ・中小工場と伝統を生かした工業について詳しく考えたい。どのような技術？どのような工夫？ ・農業や水産業でも課題があったように、工業生産における課題もあるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆学習感想で気づいたことを全体で共有する際は、技術・工夫・課題の順番に整理して紹介する。 	[態度①] ノートの記述内容や発言内容から「予想や学習計画を立て、学習問題を解決する見通しをもっているか」を評価する。

学習問題(テーマ)

例: 中小工場は、どのような技術があり、どのような工夫をしているのだろう。また、日本の工業生産にはどのような課題があるのだろう。

	<p>○学習問題（テーマ）に対して予想を立てる。 予想に対して、何を調べたいか（個人課題）を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小工場の技術について調べたい。 ・全国の中小工場ではどのようなものをつくりっていて、どのような技術を生かしているのか調べたい。 ・中小工場では、どのような工夫をしているのか調べたい。 ・工業生産の課題を調べたい。 		
調べる 個人課題解決	<p>③④昔から伝わる工業生産 P. 48～49 高い技術をほこる工場が集まる 大田区 P. 50～51 日本の工業生産の課題 P. 52～53</p> <p>学習計画を立て、個人課題を調べよう。</p> <p>○個人の学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想をもとに、中小工場の技術の高さについてまずは調べたい。など <p>○自分が設定した調べたいことを調べ、まとめること。（教科書、資料集、地図帳、図書、インターネットで調べる）※基本は教科書・資料集・地図帳を使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統を生かした工業の技術について調べる。 ・中小工場の製品をつくる中での工夫を調べまとめる。 ・中小工場でつくられた製品を調べて、そのつくり方を調べることで、中小工場の技術についてまとめる。 	<p>◆調べたいことを事前にチェックし、調べるために必要なサイトや資料などをロイロノートに送られるようにしておく。</p>	<p>[知・技①] ノートの記述内容や発言内容から「必要な情報を集め、読み取り、伝統を生かした工業の様子や中小工場の優れた技術について理解しているか」を評価する。</p>

共有	<p>⑤昔から伝わる工業生産 P. 48~49 高い技術をほこる工場が集まる大田区 P. 50~51 日本の工業生産の課題 P. 52~53</p> <p>調べたことを共有し、学習問題に対する考え方を深めよう</p>	<p>○「めがね協会の小松原さんの話」「伝統を生かした北陸の工業」などから北陸地方の工業生産を調べ、伝統的な技術をどのように生かしているのかを情報を共有する。</p> <p>○「北嶋さんの話」「田中さんの話」などから大田区での工業生産について、他地域との違いの情報を共有する。</p> <p>○「大田区工業ガイド」「製造業で働く人口の変化」のグラフや「工業生産を支える輸送と貿易」の学習などから、日本の工業生産の課題の情報を共有する。</p>	<p>◆「産地ブランド」の意味を考えさせる。</p> <p>◆「オンリーワン」の意味を考えさせるようする。</p> <p>◆「資源確保」「人口減少」「環境への配慮」に着目させるようする。</p>	<p>[知・技①] ノートの記述内容や発言内容から「必要な情報を集め、読み取り、伝統を生かした工業の様子について理解しているか」を評価する。</p>
まとめる	<p>⑥日本の工業生産の課題 P. 52~53 話し合ってノートにまとめ る P. 54</p> <p>日本の工業生産について学習をふり返り、これから の工業生産についてまとめる。</p>	<p>○写真資料などから、課題に対する取り組みを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少の中、ロボットが開発されている。 ・環境への配慮や品質の高い製品を海外に輸出している。 ・持続可能な社会に向けた工業生産が求められている。 <p>○これまでの学習をふり返って、これからの大田区での工業生産に必要なことを話し合い、学習問題(テーマ)について考えたことをノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例：日本の工業は高い技術があるので、困っている人を助ける製品づくりが日本の工業の発展につながる。 <p>→ 日本の工業生産は、資源の確保や人口減少などの課題があるなか、高い技術や伝統的な技術を生かしたり、工場どうしが技術をもじ寄って製品をつくりたりするなど、国内外で評価される取り組みが行われている。</p>	<p>◆持続可能な社会づくりにつながっていることに気づかせるようする。</p> <p>◆「産地ブランド」「持続可能な社会」などが示す意味についてふり返りながら、日本の工業生産の発展について考えさせるようする。</p>	<p>[思判表①] ノートの記述内容や発言内容から「学習したこととともに日本の工業生産の課題について考え表現しているか」を評価する。</p> <p>[知技②] ノートの記述内容から「原材料や資源の多くを輸入している我が国の工業生産の現状をふまえ、消費者の需要や社会の変化に対応した新しい技術の開発などが重要であることを理解しているか」を評価する。</p>

い か す	<p>⑦これからの 工業生産に大 切なこと P.55</p> <p>これからの 日本の工業 生産のため に、大切だ と思うこと を話し合い ましょう。</p>	<p>○これから工業生産のために大切なことについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「製品づくりの資源を確保すること」が最も大切。資源を確保しないことには日本の工業生産は何も行うことができなくなる。 「さまざまな人の生活を支える製品づくり」が最も大切。社会の課題を解決するような製品づくりによって信頼が高まる。 	<p>◆小単元の中で、児童から出た話し合いの方法で話す。(例えば、ランキング形式や役割演技、ワールドカフェなど)</p> <p>◆日本が直面している課題に着目して、日本の工業生産の持続可能性について考えさせるようとする。</p>	<p>[思判表②] ノートの記述内容から「工業生産について学習してきたことを総合して、工業生産の課題について考え、適切に表現しているか」を評価する。 [態度②] ノートの記述内容から「学習したことをもとに、これからの工業の発展について考えようとしているか」を評価する。</p>
		<p>日本の工業生産がこれからも発展していくためには、「資源確保」「高い技術」「環境への配慮」「多様なニーズ」「消費者目線」など、さまざまな視点から工業のあり方を考えていく必要がある。</p> <p>⑦</p>		

8 本時の指導

(1) ねらい

伝統を生かした工業、中小工場の優れた技術、日本の工業生産が抱えている課題などに着目して、問い合わせを出す。

(2) 展開

○学習活動 内容	◆指導上の留意点	□資料	☆評価
<p>○前時の学習感想を共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の中小工場には高い技術・工夫があることが分かった。 ・伝統を生かした工業には、職人の方がいて、他には真似できない作業をしていることが分かった。 ・従業員数が少ない中小工場がほとんどだったので、工場がちゃんと続いているのか疑問に思った。 	<p>◆前時の資料を提示しておく。</p> <p>□資料「へらしごり」□資料「輪島塗りづくり」</p> <p>□資料「高岡銅器づくり」</p> <p>□資料「大田区内に立地する製造業の事業所数」「大田区内の工場の従業員規模」</p> <p>◆中小工場の技術・工夫について書いている児童の学習感想から紹介していく。最後に工業生産の課題について触れている児童の学習感想を紹介することで、整理して伝えられるようにする。</p>		
<p>○中小工場や伝統を生かした工業の技術の高さと工夫が分かる資料・映像や「大田区工業ガイド」の中小工場の資料から考えられることをもとに、学習問題（テーマ）を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小工場の技術や工夫について詳しく知りたい。 	<p>◆学習感想をもとにして、学習問題（テーマ）を考えるように助言する。また、疑問点や調べたいことや知りたいことをもとにして考えるように声掛けをする。</p> <p>◆キーワードをロイロノートのシートで共有できる</p>		

<ul style="list-style-type: none"> ・伝統を生かした工業はどのような技術で製品がつくられているのか。 ・中小工場には課題がありそう。日本全体でどのような課題があるのか。 <p>(キーワード)・中小工場 (・伝統を生かした工業)・技術・工夫・課題</p>	<p>ようとする。</p> <p>◆工夫や技術などのキーワードには「どのように」などの疑問形になる言葉をつけさせる。</p>
---	--

学習問題(テーマ)

例: 中小工場は、どのような技術があり、どのような工夫をしているのだろう。また、日本の工業生産にはどのような課題があるのだろう。

○学習問題(テーマ)に対して何を調べたいかを考える。

- ・中小工場の技術がどのようなものか知りたい。だから、中小工場ではどのようなものを作っていて、そのためにはどのような技術や工夫をしているのかを調べたい。
- ・日本の工業生産には、具体的にどのような課題があるのかを知りたい。だから、従業員数や貿易に注目して課題を調べたい。

○学習問題(テーマ)に対して予想を立てる。

- ・中小工場では、少ない人数で、組み立て工場のようなロボットなどをあまり使わずに一つ一つ丁寧に製品をつくっていると思う。だから人の技術が高い。
- ・細かい部品をつくっていると思うので、細かいミスもない高い技術があると思う。
- ・工場どうしが技術をもち寄って協力しながら製品をつくっている。
- ・職人のような人がいて、細かい作業を正確に丁寧にこなしていると思う。
- ・農業や水産業でもあったように、未来を担う働き手が少なくなっている。
- ・工業製品の貿易であったように、原材料をほとんど輸入に頼っているので、相手国に何かあったときに安定して製品がつくれなくなってしまう課題がある。

○学習をふり返る。

◆学習問題(テーマ)には「技術」「工夫」「課題」の3つのポイントがある。調べる中で3つとも網羅することになるが、いきなり3つを調べるのは難しいので3つのポイントのうち1つを選んでもよいことを確認する。

◆小単元「自動車をつくる工業」の組み立て工場(大工場)の溶接資料や小単元「工業生産を支える輸送と貿易」の輸入量の円グラフなど、既習の情報を思い出させ、つながりをもって考えられるように声掛けをする。これまでの資料が見られるように黒板に資料を映す。

◆予想を立てる上で必要なら教科書、資料集、地図帳を活用するように伝える。

☆予想や学習計画を立て、学習問題を解決する見通しをもっているか(ノート記述・発言内容)

◆小単元全体の見通しをもたせる。

(3) 板書計画

